

盛岡駅ビル「フェザン」おでんせ館 リニューアル第一期オープン!

株式会社 船場(本社:東京都港区、代表取締役社長:栗山 浩一、東証二部:証券コード6540)にて2015年より進めてまいりました盛岡駅ビル フェザンおでんせ館(盛岡市盛岡駅前通1-44)のリニューアル第一期が3月17日オープンします。

環境設計コンセプト「ナンプモダン」



【レストランゾーン パース】



【土産・物販ゾーン パース】

コンセプト「ナンプモダン」について

南部藩時代から大切に受け継がれてきた豊かな自然や歴史と現代の生活との融合空間を目指し、環境コンセプトを設定しました。また、南部鉄器や南部古代型染などをモチーフに各所に岩手らしいデザインを創り出し、お客さまがより岩手らしさを感じとって頂けるように計画しています。

地域の人々に愛される駅ビルを目指すとともに、県外からのお客様に岩手の魅力を発信できる店舗構成を目指して計画し、短時間で岩手の食を楽しんでもらえるように、新しいレストランゾーンを設置しています。

弊社では、施設環境だけでなく、入店される各専門店の設計施工も対応しています。

【施設概要】

名称	盛岡駅ビル フェザン
発注者	盛岡ターミナルビル株式会社
住所	盛岡市盛岡駅前通1番44号
対象ゾーン	盛岡駅「フェザン」おでんせ館1階

VOICE

【環境設計担当より】

関 俊輔 (株船場 環境設計担当チーフデザイナー)
齋藤 亜紀 (株船場 環境設計担当デザイナー)

最初に盛岡を訪れた時に感じた「盛岡の空気感」を環境で表現したいと当初から思っていました。

盛岡の空気感＝「盛岡らしさ」は、昔から大切に受け継がれてきた街並みや伝統文化、現代の人々の丁寧な暮らしなどを含めた様々な要素が融合することで盛岡らしさをつくっているのだと感じます。

これらの要素を「ナンプモダン」とし、新しいかたちで空間に表現することで訪れた人にとっても地元の人にとっても盛岡の魅力を体験・体感できる場をつくりたいと考えました。

【施設リニューアルコンセプト担当より】

寺師 一浩 (株船場 施設リニューアルコンセプト推進)
中田 倫末 (株船場 施設リニューアルコンセプト担当)

盛岡ターミナルビル株式会社様から(株船場 東北オフィス)にご相談を頂いて、初めて伺ったのは2015年秋。

「これからのフェザン」について考える機会を頂き、そこから約半年間、盛岡の街の玄関であり中心でもある駅ビルの可能性や果たすべき役割について議論させて頂きました。

今回のリニューアルは、この議論を具現化する第一弾として、とことん岩手・盛岡らしさを感じられるゾーンとして計画を進め、オープンを迎えることができました。

今後もフェザンが盛岡の「玄関」「中心」として進化していけるよう、継続して考えていきたいと思っています。